

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 25日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 東京都中央区日本橋本石町1-2-2

氏 名 三菱ケミカルエンジニアリング株式会社

代表取締役社長 藤井 宏記

電話番号 03-6262-0080

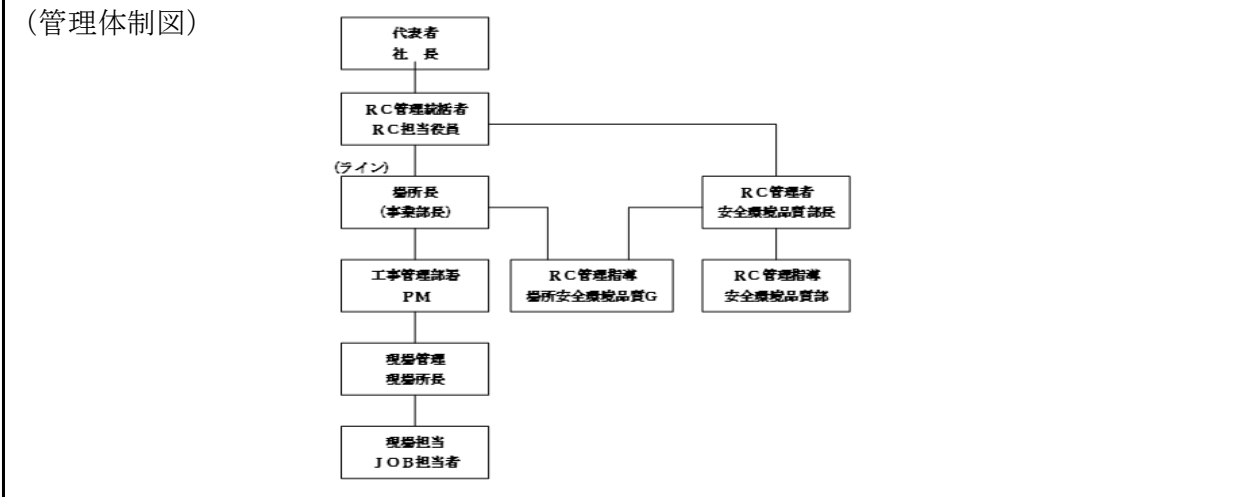
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奈良県管轄内の建設現場
事業場の所在地	奈良県大和郡山市西町100、他
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 88,979百万円 (2023年3月期)
③ 従業員数	約1,200名 (2023年3月末)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用 金属くず ⇒ 選別 ⇒ 再生利用 コンクリートくず、アスファルト・コンクリート破片 ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用 ガラス、コンクリート及び陶磁器くず ⇒ 破碎 ⇒ 再生利用 (一部埋め立て) 廃プラスチック ⇒ 選別、破碎 ⇒ 焼却 ⇒ 再生利用 (一部埋め立て) 木くず ⇒ 破碎、チップ化 ⇒ 再生利用 (一部燃料) 混合廃棄物 ⇒ 選別、破碎 ⇒ 埋め立て (一部再利用) 廃アルカリ ⇒ 中和、焼却 紙くず ⇒ 選別 ⇒ 再利用 廃油 ⇒ 燃料化 汚泥 ⇒ 固形化 ⇒ 埋め立て

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	建設混合 廃棄物				合計
	排出量(t)	1,001.1	276.1	46.6				1,323.8
	(これまでに実施した取組)	・環境マニュアル、管理規定に基づく建設廃棄物の発生抑制に努める。						
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	建設混合 廃棄物				合計
	排出量(t)	300.0	300.0	100.0				700.0
	(今後実施する予定の取組)	・環境マニュアル、管理規定に基づく建設廃棄物の発生抑制の継続。 ・ゼロエミッションの継続。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特定建設資材の分別徹底。 ・建設混合廃棄物の中間分別処理によるリサイクル率向上。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現場分別の強化により、リサイクル化を推進。 ・環境マニュアルに基づき、着工前に環境計画書で分別計画の作成を継続。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	建設混合 廃棄物				合計
	全処理委託量(t)	1,001.1	276.1	46.6				1,323.8
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	1,001.1	276.1	46.6				1,323.8
	再生利用業者への処理委託量(t)	1,001.1	276.1	46.6				1,323.8
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0				0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0				0.0
	(これまでに実施した取組)	・建設混合廃棄物の分別と減量化。 ・減量化処理業者との契約処理。						
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	がれき類	建設混合 廃棄物				合計
	全処理委託量(t)	300.0	300.0	100.0				700.0
	優良認定処理業者への処理委託量(t)	300.0	300.0	100.0				700.0
	再生利用業者への処理委託量(t)	300.0	300.0	100.0				700.0
	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0				0.0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	0.0	0.0	0.0				0.0
	(今後実施する予定の取組)	・熱回収処理業者との契約処理（認定熱回収処理業者を含む）。 ・産廃最終処分量低減検討。						